

ワークポジショニング用器具(傾斜面用) 取扱説明書

要保存

■この度は当社製ワークポジショニング用器具(傾斜面用)をお買い上げ頂き、お礼申し上げます。ワークポジショニング用器具(傾斜面用)を使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用してください。

【この説明書を読んだあとも大切に保管してください。】

■このワークポジショニング用器具(傾斜面用)は法面工事や足場の不安定な急斜面での作業で作業者の身体を安定して保持し、かつ墜落、滑落を防止するために使用する製品であり、「墜落制止用器具」適合品ではありません。

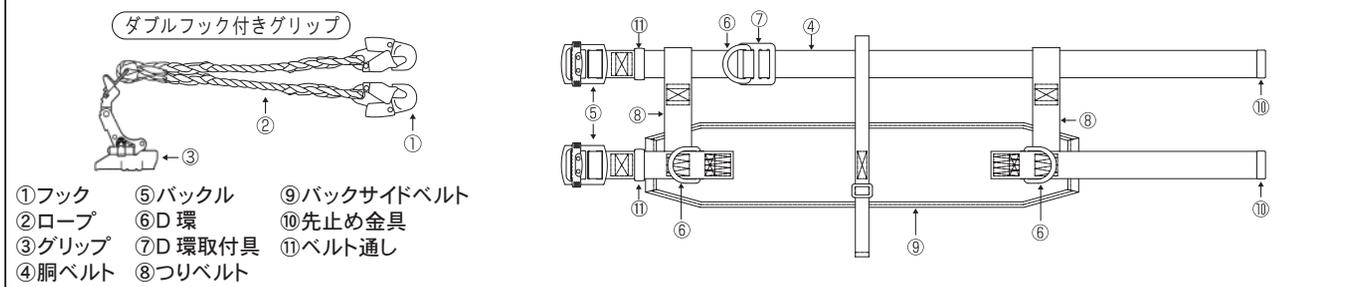
※原則として、フルハーネス型墜落制止用器具と併用してください。

■疑問や不明な点がございましたら、裏面の当社消費者相談室までご連絡ください。

■この説明書を紛失した場合も同室までご請求ください。

■傾斜面用親綱(φ16~20mm・JIS規格合格品)と併用してご使用ください。(注:この商品には傾斜面用親綱は付いていません。)

◆ワークポジショニング用器具(傾斜面用)各部名称(形状は一例を示します。)



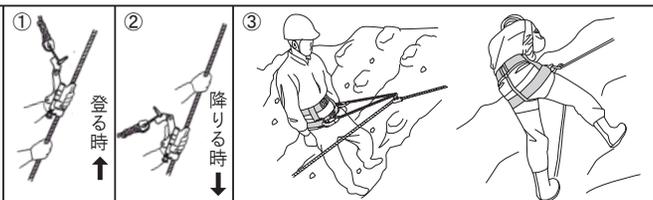
■グリップの使用方法

グリップに表示された取付け上下方向の通りに正しく傾斜面用親綱をセットしてください。



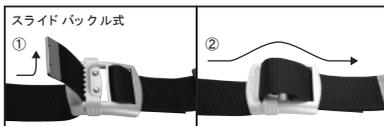
■ワークポジショニング用器具(傾斜面用)の使用方法

- ① 斜面を昇る時は、下方の傾斜面用親綱を片手で持って他方手でグリップを押し上げるか、身体を上側に移動することでグリップを引き上げるようにする。
- ② 斜面を降りる時は、上方の傾斜面用親綱を片手で持って、他方手でグリップを握り、爪を解放状態にして下方向にスライドさせる。
- ③ 定位置で作業する場合は、徐々に体重をかけ、異常がないことを確認してから、手を放し作業を行う。
- ④ ワークポジショニング用器具(傾斜面用)又はダブルフック付きグリップ、傾斜面用親綱が破損した場合を想定して補助親綱と補助用ロープチャックを併用し、万が一に備えて二重の安全を確保する。



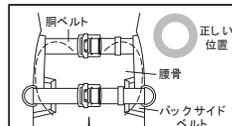
■胴ベルトの正しい通し方

胴ベルトの通し方を間違えますとバックルの機能を失いますので充分注意してください。



■胴ベルトの締める位置

胴ベルトは腰骨の正しい位置に締めてください。



⚠ 危険

誤った使い方をしますとワークポジショニング用器具(傾斜面用)が損傷したり落下のおそれがあり大変危険です。絶対に下記の項目を守って使用してください。

1. グリップの取付け上下方向を間違えない。
2. グリップを傾斜面用親綱に取付けた時に、爪軸が内側に入った状態で、安全ピンが確実に閉じられていることを確認する。
3. ロープが切断されるおそれがあるので傾斜面用親綱やダブルフック付きのグリップのロープが鋼材や岩石等の鋭い角に当たらないようにする。やむをえない場合は布等を当てて直接触れないようにする。

⚠ 警告

誤った使い方をしますとワークポジショニング用器具(傾斜面用)が損傷したり落下事故のおそれがあります。下記の項目を守って使用してください。

1. 作業者の身体の保持及び墜落・滑落防止以外の目的で使用しない。
2. グリップは適切な傾斜面用親綱に取付けて使用する。
3. 傾斜面用親綱は、φ16~20mmでJIS規格合格品の合成繊維ロープを使用する。
4. 墜落・滑落防止時に抜け落ちたり内臓が圧迫されたりしないように、胴ベルトは正しい方法でバックルに通し、腰骨のところに確実に締める。
5. 1本の傾斜面用親綱は1人で使用する。
6. 墜落・滑落防止時に下方の障害物に接触しないようにする。長い傾斜面用親綱の下方で使用する場合は、墜落・滑落防止時の親綱の伸びを考慮して特に注意する。
7. ロープ、ベルトに溶接の火花、酸、溶剤等その他高熱の物質及び化学薬品類が触れないようにする。
8. ロープは水分を含むと電気をよく通すので、特に雨の日等は感電に注意する。
9. 一度でも大きな衝撃を受けたワークポジショニング用器具(傾斜面用)は、外観に変化がなくても再度使用しない。
10. このワークポジショニング用器具(傾斜面用)を分解あるいは改造などしない。
11. 製造元以外でベルトの縫製、ロープのサツマ編み加工は絶対にしない。
12. 傾斜面用親綱がたるまないようにたえず適切な長さに調整する。墜落・滑落の距離が長くなり、危険です。
13. 体重と装備品の合計の質量が100kgを超える場合は使用しない。

併用する傾斜面親綱に関する注意

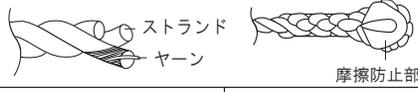
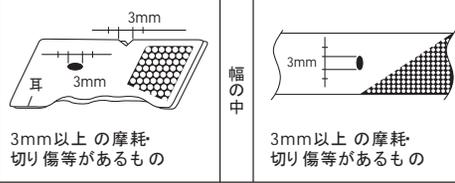
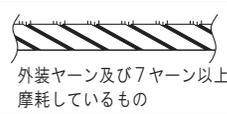
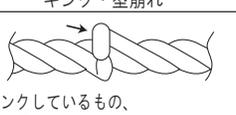
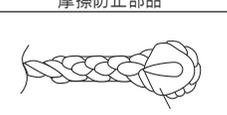
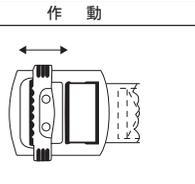
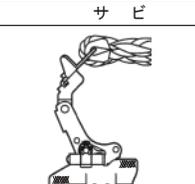
1. 使用時点での直径の実測値が16mm未満または20mmを超える親綱に、グリップを取付けて使用しない。
(直径16mm未満ではグリップの制動機構が作動しない。20mmより太いものはグリップにはめ込むことができず、無理に取付けても動かない。)
2. ワイヤロープ・麻ロープ等合成繊維以外のロープ及び合成繊維ロープであっても引っ張り強さが22.9kN(2390kgf)未満のものに、グリップを取付けて使用しない。
3. 使用中や墜落防止時に、ロープ自体及びフックの取付け加工部分が切れたり抜けたりするおそれのある親綱に、グリップを取付けて使用しない。
4. 傾斜面親綱の上端は、抜けたり外れたりするおそれがなく、使用中の荷重や墜落防止時の衝撃に充分耐えられる強固な構造物等に確実に方法で取付ける。
5. 傾斜面親綱を鋭い角のある構造物に取付ける場合は、布等を当てて直接触れないようにする。
6. 傾斜面親綱がたるまないようにたえず適切な長さに調節する。(特に上に昇る時にたるみが発生しやすい。)

■保守・管理

1. ロープ、ベルトは直射日光、熱、雨、薬品等の影響をうけると性能の低下や伸縮する場合があるので前記の影響のない場所に保管する。
2. 雨等でフックやバックル部が濡れた場合は乾いた布等で拭き取った後、さび止めの油をうすく塗る。
3. ワークポジショニング用器具(傾斜面用)を投げたり、引きずったりしない。故障の原因になります。
4. 金属類の可動部分や、スプリングなどに砂や土が付着すると機能が低下し、錆付きの原因になります。時々手入れをし、注油する。
5. ロープ、ベルトに泥、埃、油などが付着している場合は、乾いた布等で拭き取る。

■点検・廃棄

ワークポジショニング用器具(傾斜面用)は使用前及び定期的に点検して頂き、下記の廃棄基準に達すれば新しいものと取替えてください。

| 点検部分 | 点検項目・廃棄基準 | | 点検部分 | 点検項目・廃棄基準 | |
|--|--|--|---|--|--|
| ロープ | 三ツ打ちロープ(新品)  スランド ヤーン 摩擦防止部品 | | ベルト | 摩耗・擦り切れ・切り傷・焼損・溶解  幅の中 3mm以上 3mm以上の摩耗・切り傷等があるもの | |
| | 切り傷 | 摩耗 | | a. 刃物傷、裂け傷、引っかけ傷、摩耗、先止め金具の脱落のあるもの。 b. 薬品が付着し、変色しているもの。 c. 縫糸に摩耗、糸切れ、ほつれのあるもの。 | |
| |  1リード以内で7ヤーン以上切れているもの |  外装ヤーン及び7ヤーン以上摩耗しているもの | | | |
| | サツマ編み | 薬品塗料 | | | |
| |  サツマ編みが1箇所でも抜けているもの |  塗料が付着しているもの、また薬品が付着し、変色しているもの | | | |
| | キンク・型崩れ | 摩擦防止部品 | | | |
|  キンクしているもの、また7ヤーン以上型崩れのあるもの |  摩擦部品が脱落しているもの | 変形 | 傷・亀裂 | | |
| a. 刃物傷、引っかけ傷、焼け傷等のあるもの。 b. 摩擦等により毛羽立ち、棒状になっているもの。 c. サツマ編み部分にほつれ、抜けのあるもの。損傷しているもの。 d. 薬品が付着し変色しているもの。 e. 形くずれや、著しく縮んでいるもの。 f. キンク(よりのもどり)のあるもの。(注) g. 摩擦防止部品が脱落しているもの。 h. 使用開始から2年が経過しているもの。 (注) 下記事項の時、三ツ打ちロープはキンク(よりのもどり)になる恐れがありますので充分注意してください。 (1) ロープによりと逆方向の力が加わった時。 (2) ロープを持ってフックを振り回した時。 (3) ロープに強い衝撃が加わった時。 | | 金具類 バックル D環 フック チャック | 作動 | サビ | |
| | |  |  | a. 変形しているもの b. 1mm以上の傷、亀裂のあるもの。 c. リベットが損傷したり緩んでいるもの。 d. 作動が悪いもの。完全に開閉しないもの。 e. パネが折損、脱落しているもの。 f. 全体に錆または著しい腐食が発生しているもの。 | |

◆交換のめやす(耐用期間)

使い方によって異なるが、交換の目安としてはダブルフック付きグリップは使用開始より2年、ベルト部は3年を目処として新しいものと取替える。
但し、耐用期間内であっても点検項目にしたがって点検を実施し、廃棄基準に達したものは使用しないで新しいものと取替える。使用を開始した年月を必ず記入する。
また、ロープなど部品を取替えた時も年月を必ずご記入する。

| | |
|-------|---|
| 品番 | _____ |
| 製造年月日 | _____ |
| 発売元 | 株式会社トヨセフティ |
| 製造元 | 東洋物産工業株式会社 (使用開始及び部品取替え年月を記入してください。) |
| 開始年月 | _____ |
| 取替年月 | _____ |
| 氏名 | _____ |

【発売元】 株式会社トヨセフティ
兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
URL: <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 TEL.0794-83-0155

【製造元】 東洋物産工業株式会社